

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校 豊中市立上野小学校（※正式名称を記載）

種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫<sup>※注1</sup>

中学校  中高一貫<sup>※注2</sup>  高等学校

教員養成大学  専修学校、各種学校

特別支援学校

その他（例：小中高一貫）

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒560-0013

豊中市上野東2-8-8

E-mail [ueno@tss.toyonaka-osa.ed.jp](mailto:ueno@tss.toyonaka-osa.ed.jp)

Website

幼児児童生徒数 男子 594 名 女子 516 名 合計 1110 名

幼児・児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

## 2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

本校は、子どもたちに広い視野と主体的な行動力を育むため、国内・国際交流事業や教科学習等を通して、ESDに取り組んでいる。次の4点をねらいとして帰国保護者会の協力も得ながらESDに取り組んだ。以下にその概要を示す。①広い視野と主体的な行動力を育成するため、日本および世界各地の子ども達と交流し、その国や地域の文化を知るとともに日本文化等を発信する。②ESDなどの学習課題や教科学習を交流先の児童と連携して取り組む。③異なる言語・文化環境の人々とコミュニケーションを図ろうとする意欲をもつ。④教材や授業方法等の交流をすることで、本校教育の一層の深化を図る。

(1) 国内・国外の交流先、及び交流内容

\* 韓国・巨済市・菊山初等学校(ユネスコスクール加盟校、2010. 8. 27. フレンドシップ提携校)

\* アメリカ・サンマテオ市・パークサイド小学校 (2012. 5. フレンドシップ提携校)

\* カンボジアカンボジア・ピートゥヌー小学校／文房具寄贈活動

- \* ユネスコへの募金活動
- \* 折りづるプロジェクト
- \* 平和への思いを届けるプロジェクトに全校児童で参加し、折り紙でつるを折り、寄贈した。
- \* 中国の子どもたちとの交流学習  
 国際児童間交流としては、中国陝西師範大学実験小学校から40数名の小  
 学生と先生の訪問を受け、互いの学校紹介やダンス、日本の昔遊び体験など、  
 日本と中国の文化交流を行った。



- \* タイに学ぶ子どもの姿  
 マレット・ファン「幸せの種まき」の講演により、被災地への草の根国際  
 協力について学んだ。

(2) 教職員校内研修

教職員校内研修を2回実施した。1回目は、NPO法人おおさかこども多文化センター安田 乙世先生\*をお招きし、教職員が帰国児童を受け入れるにあたり、帰国児童が日本の学校生活に順応するために必要な事柄や配慮事項等を教えていただいた。2回目は、夏季研修として安田 乙世先生に来ていただき、「帰国児童の理解と明日からの日本語支援のために」のテーマでお話いただいた。日本語を母語としない子どもたちが感じる日本語の難しさをワークショップで体感し、子どもたちにどんな日本語を獲得させるのか、生活言語と学習言語について理解を深めた。

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項1-2, 2-1に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input checked="" type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育(GCED)	
<input checked="" type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 児童会 )	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

「うらしまたろう」「ももたろう」「かにむかし」「おむすびころりん」  
 「ひと めくもり」「原田処理場」「いっしょにエコ日記」「リサイクルプラ  
 ザ」「豊中市伊丹市クリーンランド」「地球教室 応用・研究編 2017」  
 「農業とわたしたちの暮らし」「文部科学省HP,」「ESD」

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのよう  
 に位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努め  
 ているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

本校では、ユネスコスクールに加盟し、国際教育、ESDに取り組んできた。各学年、年間カリキュラムの中にユネスコスクールとしての活動としてESDの内容を盛り入れている。今年度、年間カリキュラムの内容をESDの観点で分類した。分類することによって、新たにESDカリキュラムを見直して再編成していく道筋ができた。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、  
 どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

校務分掌の中に国際教育研究部を設置し、ユネスコスクールの活動や国際教育について話し合い、計画的、継続的に取り組んでいる。また、帰国保護者会の協力も得て、帰国保護者に海外の生活や文化等について、授業をしていただく機会をつくり、多様な異文化理解を図っている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

ユネスコスクールとしての活動の質の向上のために、教職員（平成 29 年度は 2 名）がユネスコスクール全国大会に参加し、研修をしてきた。そのことを学校で報告、伝達講習を行い、日本語指導の教員や帰国担当の教員が中心となって国際教育研修として、本校の教職員に還元した。学校活動については、校内で年度末反省を行い、今年度の成果と課題について話し合った。中国の小学校との交流や、タイの災害に対してのボランティア活動などを知ることにより、アジアの異文化理解につながった。学んだことを自分の考えと行動に生かす児童を増やすことが課題である。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。（200字程度）

※チェック事項 2-2 に対応

ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法として、ホームページに活動内容をアップしている。また、帰国児童の受け入れに対しての評価が高く、年間新たに約 30 名帰国児童を迎えている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD 活動支援センター、ESD コンソーシアムとの連携など）

（200字程度）

※チェック事項 2-3 に対応

大阪ユネスコスクール（ASPnet）ネットワーク

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（200字程度）

※チェック事項 2-4 に対応

豊中市内ユネスコスクール取り組み交流会。意見交換会。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項 2-5 に対応

本校は、帰国、入国児童の多い学校であるため、世界24ヶ国からの多様な国での生活経験者である保護者から、滞在国での話をお聞きする機会に恵まれている。これらの人的、環境的強みを生かして多様な考えや異文化理解を促すことが、ユネスコスクールの活動との相乗効果があり、評価されている。

(3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

- ①韓国・巨済市・菊山初等学校(ユネスコスクール加盟校、2010.8.27.フレンドシップ提携校)、アメリカ・サンマテオ市・パークサイド小学校(2012.5.フレンドシップ提携校)との交流
- ②カンボジアカンボジア・ピートゥヌー小学校／文房具寄贈活動
- ③ユネスコへの募金活動
- ④ワールドミュージアム開催（海外の生活、学用品、衣服の展示。海外についてのクイズ）
- ⑤帰国保護者による聞き取り学習
- ⑥ベトナムとの交流学習